※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	2	1	FACTBOOK English Grammar Advanced

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国語のより豊かなコミュニケーションのためには文法的な知識を深めることが不可欠である。本科目では語学の４技能習得の礎となる文法を中心に、基本的な練習問題やショートパラグラフの作文などの活動を通して英語の表現力を培うことを目標とする。ペアワークなども行い、「書く」だけでなく、「話す」ための発信力も同時に高めていく。授業に積極的に参加することはもとより、予習・復習を含む授業時間外(主に家庭)での学習活動が必要不可欠である。本科目内容のさらなる理解のために、参考書(総合英語 FACTBOOK)も活用されたい。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	日常的なやり取りや身近なトピックや社会問題についての英語を聞いて、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題に関する文章を読んで、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って質疑応答をすることができる。	身近なトピックや社会問題について、自分の意見をまとめて簡潔に発表することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って自分の意見をまとめて、学習した文法や語法を用いて簡潔に書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	相手と英語で意見や考えのやり取りをするための様々な文法事項や語法を理解し、知識として身につけている。	様々な文法事項や語法を理解し、英語で発信された内容を読んだり聞いたりして理解できる。身につけた文法表現を用いて自分の意見や考えを英語の文章で、または話すことで表現できる。	様々な文法事項や語法を使って発信された内容を理解しようとしている。身につけた文法表現を用いて自分の意見や考えを英語の文章で、または話すことで表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	第 1 章～第 3 章・PLUS 文型 第 4・5 章 時制 第 6・7 章 完了形	聞くこと	a: 基本 5 文型・様々な時制を表す表現を理解している。 b: 基本 5 文型・様々な時制を用いた例文の内容を聞いて理解する。 c: 基本 5 文型・様々な時制を用いた例文を聞き、内容を理解しようとしている。	授業内の 活動の様子 （リスニング）
		読むこと	a: 基本 5 文型・様々な時制を表す表現を理解している。 b: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで理解する。 c: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで内容を理解し、積極的に表現しようとしている。	定期考査 授業ノート
		話すこと	a: 基本 5 文型・様々な時制を表す表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現する。 c: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現しようとしている。	授業内の 活動における発表の様子
		書くこと	a: 基本 5 文型・様々な時制を表す表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書く。 c: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書こうとしている。	定期考査 授業ノート
	中間考査			
	第 8 章～第 10 章 助動詞 第 11・12 章 受動態 第 13 章～第 14 章・PLUS 不定詞	聞くこと	a: 助動詞・受動態・不定詞に関する表現を理解している。 b: 助動詞・受動態・不定詞を用いた例文の内容を聞いて理解する。 c: 助動詞・受動態・不定詞を用いた例文を聞き、内容を理解しようとしている。	授業内の 活動の様子 （リスニング）
		読むこと	a: 助動詞・受動態・不定詞に関する表現を理解している。 b: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで理解する。 c: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで内容を理解し、積極的に表現しようとしている。	定期考査 授業ノート
		話すこと	a: 助動詞・受動態・不定詞に関する表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現する。 c: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現しようとしている。	授業内の 活動における発表の様子
		書くこと	a: 助動詞・受動態・不定詞に関する表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書く。 c: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書こうとしている。	定期考査 授業ノート
	期末考査			
2	第 16・17 章 動名詞 第 18・19 章・PLUS 分詞 第 20 章～第 22 章 比較 第 23 章～第 25 章 関係詞	聞くこと	a: 動名詞・分詞・比較・関係詞の表現を理解している。 b: 動名詞・分詞・比較・関係詞を用いた例文の内容を聞いて理解する。 c: 動名詞・分詞・比較・関係詞を用いた例文を聞き、内容を理解しようとしている。	授業内の 活動の様子 （リスニング）
		読むこと	a: 動名詞・分詞・比較・関係詞に関する表現を理解している。 b: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで理解する。 c: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで内容を理解し、積極的に表現しようとしている。	定期考査 授業ノート
		話すこと	a: 動名詞・分詞・比較・関係詞に関する表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現する。 c: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現しようとしている。	授業内の 活動における発表の様子
		書くこと	a: 動名詞・分詞・比較・関係詞に関する表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書く。 c: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書こうとしている。	定期考査 授業ノート
	中間考査			
	第 26・27 章 節 第 28・29 章 仮定法	聞くこと	a: 様々な節・仮定法・疑問・協調・倒置・話法を用いた表現を理解している。 b: 様々な節・仮定法・疑問・協調・倒置・話法を用いた例文の内容を聞いて理解する。	授業内の 活動の様子 （リスニング）

※令和４年度以降入学生用

	第 30・31 章 否定 第 32 章 疑問詞・疑問文 Option① 強調・倒置 Option② 話法		c: 様々な節・仮定法・疑問・協調・倒置・話法を用いた例文を聞き、内容を理解しようとしている。	
		読むこと	a: 様々な節・仮定法・疑問・協調・倒置・話法を用いた表現を理解している。 b: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで理解する。 c: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで内容を理解し、積極的に表現しようとしている。	定期考査 授業ノート
		話すこと	a: 様々な節・仮定法・疑問・協調・倒置・話法を用いた表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現する。 c: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現しようとしている。	授業内の 活動における発表の様子
		書くこと	a: 様々な節・仮定法・疑問・協調・倒置・話法を用いた表現を理解している。 b: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書く。 c: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書こうとしている。	定期考査 授業ノート
	期末考査			
3	Option③～⑤ 名詞 Option⑥ 形容詞 Option⑦ 副詞 Option⑧・⑨ 前置詞 Option10 接続詞	聞くこと	a: 様々な品詞に関する表現や語法を理解している。 b: 様々な品詞に関する表現や語法を用いた例文の内容を聞いて理解する。 c: 様々な品詞に関する表現や語法を用いた例文を聞き、内容を理解しようとしている。	授業内の 活動の様子 （リスニング）
		読むこと	a: 様々な品詞に関する表現や語法を理解している。 b: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで理解する。 c: 学習した表現や文法事項に関連する問いを読んで内容を理解し、積極的に表現しようとしている。	定期考査 授業ノート
		話すこと	a: 様々な品詞に関する表現や語法を理解している。 b: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現する。 c: 学習した表現を用いて、自分の身の回りのことなどを相手に話して表現しようとしている。	授業内の 活動における発表の様子
		書くこと	a: 様々な品詞に関する表現や語法を理解している。 b: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書く。 c: 学習した表現を用いて、相手に伝わる表現で書こうとしている。	定期考査 授業ノート
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度